

# “みんなで みんなを 地域の主人公に！”

## ～社協ボランティアセンターの活動紹介～



甲南大学 文学部 福祉事業論 (H23.12.7)  
西宮市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
音川 礼子

## ◎西宮市の概要

総面積	100.18 km <sup>2</sup>	
人口	482,990 人	(H23.11)
世帯数	202,896 世帯	( // )
高齢者数	91,257 人	(H22.9)
高齢化率	19.1 %	( // )
自治会数	431 団体 (加入率 約7割)	( // )
学校 (公立)	小学校40、中学校20 短・大学10	(H23.4)

### ～課題と特徴～

- ☆人口の急激な増加 . . . . . 住民のつながりの希薄化、地縁組織（自治会等）の脆弱化 など
- ☆世帯構成員の縮小 . . . . . 孤立・孤独、自助力の低下、SOSが出せない人の存在 など
- ☆財政面の悪化 . . . . . 制度の不備、制度の狭間、雇用不安 など
- ☆活動者の高齢・固定化 . . . . . 無関心層の増大、情報の偏り、地域から見えなくなる存在 など

⇒ だれもが“生きづらさ”を感じる地域社会

## ◎西宮市社協の概要

設 立	昭和26年10月 4日	
法人認可	昭和28年 7月30日	
地区VC	32地区VC コーディネーター 325人 登録V 2,402人	(H23.3)
主な事業	小地域福祉(支部・分区)活動の推進・当事者組織化活動・福祉学習・青葉園 等 ※介護保険サービスは未実施、障害者分野事業を多く実施	
市受託事業 (指定管理含む)	留守家庭児童育成センター (40ヶ所) 総合福祉センター・障害者相談支援センター 老人福祉センター	
市社協職員	208人(内、育成C指導員嘱託118人)	(H23.4)

### ～社協（しゃきょう）の役割・機能・使命（ミッション）～

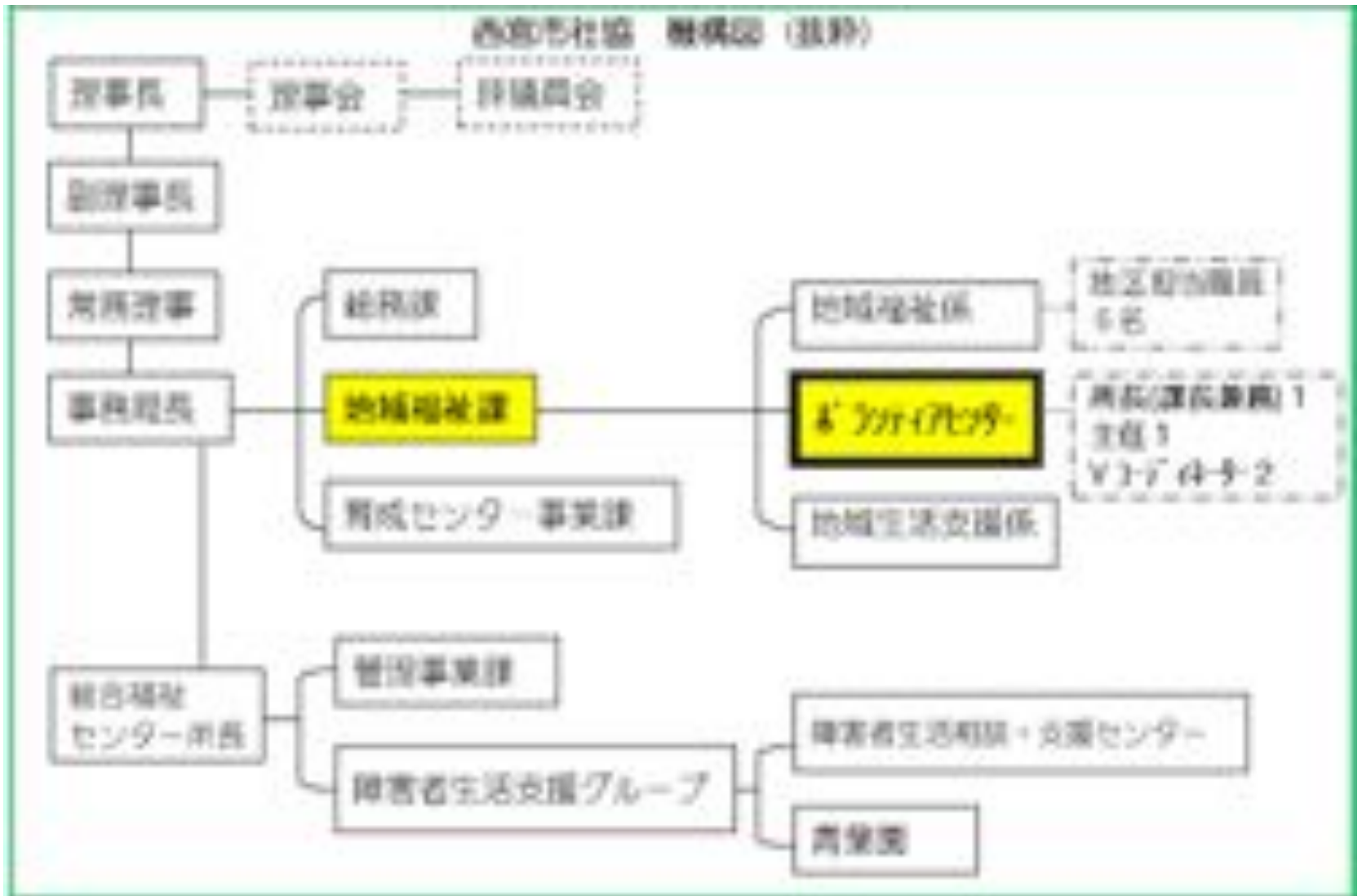
社協・・・地域福祉を推進する民間組織（H12社会福祉法に位置付け）

“**住民主体**”の理念に基づき、福祉、行政、教育等の関係機関との連携により、地域住民の安心した暮らしを目指す**協議体**

《機能》住民ニーズや福祉課題の明確化、住民活動の推進、福祉活動の企画及び実施等

**ex. 震災（災害）時の活動**

◎西宮市社協機構図



## ◎西宮市社協ボランティアセンター（VC）の概要

### 《設置目的》

西宮市におけるボランティア活動の振興を図り、社会福祉の増進に資するため、市社協ボランティアセンターを設置する

### 《設置の経過》

- S40年代前半 婦人層を中心としたボランティアグループが結成される
- S49 ボランティアセンター設置
- S58 初めてのボランティア入門講座を開催
- S62 市内初「地区ボランティアセンター」設置  
→震災(H7)後、全地域（32ヶ所）設置へ

### 《主な事業》

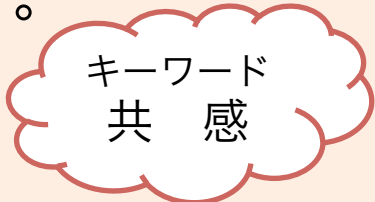
- ☆ボランティアの育成（ボランティア講座等の開催）
- ☆ボランティア活動の普及・啓発
- ☆ボランティア活動に関する相談・情報提供・**コーディネート**
- ☆ボランティア活動者、グループの活動支援
- ☆福祉学習 など

## ◎ボランティア活動について

### ☆ボランティア活動って？

ボランティア活動は特別な活動ではありません。

私たちのまわりや地域に暮らすみんなが、安心して暮らせるために一人ひとりができることを、できる時に行う活動です。



キーワード  
共感

### ☆ボランティア活動の性格

- ① **自発性** 自らがボランティア活動をやってみたいと思う気持ちが大切  
自由な意思に基づく活動ですが、もちろん責任をもって活動することも必要
- ② **社会性** まわりの人たちや自分の暮らす地域をよくしていこうという気持ち
- ③ **無償性** 活動に対する対価（報酬や名誉、地位など）は求めない  
活動をとおして得られることもたくさんあるはず

## ◎コーディネートとは

コーディネート → Co + Ordinate  
(共同・相互・対等) (整理・配列・配置)

⇒(異質の)もの(人)と もの(人)を お互いが対等になるようにつなぐ

例) ボランティア と ボランティアに来てほしい人(依頼者)  
ボランティア と 施設、団体等          ボランティア同士

《コーディネーターの役割》

〈狭義〉 ～個を支えるコーディネート～

- ・ ニーズを持った方へのコーディネート
- ・ ボランティア活動希望者のコーディネート

〈広義〉 ～地域づくりのコーディネート～

- ・ 地域住民や団体、学校等との連携
- ・ 潜在ニーズの発掘
- ・ 活動者の開拓 など

## ◎個別支援活動（狭義のコーディネート）

- \* 高齢者等                      話し相手
  - \*     //                          囲碁の相手
  - \* //                      買い物家事
  - \*     //                          電球の交換
  - \*     //                          軽易な大工仕事
  - \* 子育て中の家庭    双子や三つ子家庭
  - \*     //                          育児不安への支援
- 
- \*障害のある人（視覚）散歩の付き添い
    - \* 高齢者等の通院の付き添い
    - \* 障害児の通園・通所支援
    - \* 学校での付き添い

・孤立・孤独

・ちょっとした困り事

・緊急対応

・制度対象外や狭間

◎コーディネーターの役割

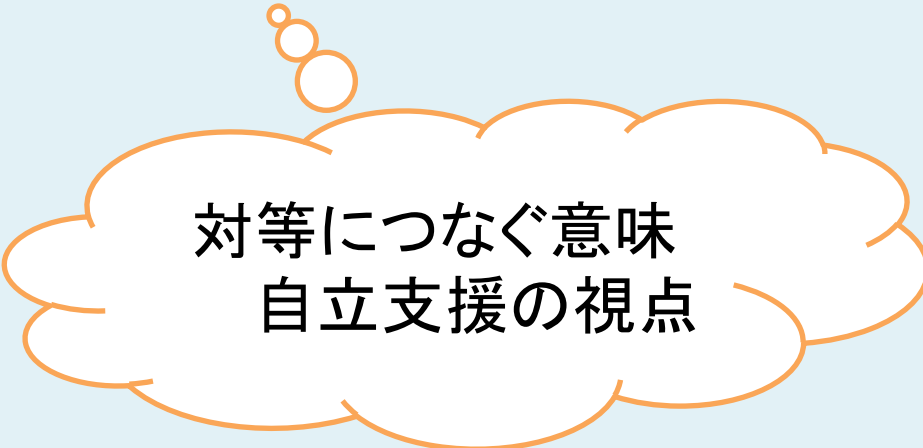
☆ 受けとめる

☆ 気づく

☆ つなぐ(見届ける)

☆ 創りだす

・  
・  
・



対等につなぐ意味  
自立支援の視点

あなたがコーディネーターなら、どう感じ、どう受け止め、  
どんな対応をしますか？

◎相談事例①～V活動希望者～

18歳の女子高校生。  
福祉系の大学への進学を考えている。  
希望の大学の推薦入試ではボランティア活動  
したことを証明する「ボランティア証明書」があ  
れば有利である。  
そこで「とりあえず早くできる一日のボランティア  
活動を紹介してほしい」と、ボランティアセンター  
に電話してきた。

## ◎相談事例②～V活動希望者～

36歳の男性が来所。

うつ状態がひどく、仕事を辞めて家に閉じこもり  
気味とのこと。

少し体調も良くなってきたので、「まずボランティア活動をして、外に出てみたい。いずれは働きたい」とのこと。

### ◎相談事例③ ～依頼者～

30代の母親から電話での相談。  
2歳の子どもがいるが、精神的に落ち込むことも多く、心療内科に通院している。  
家にいると子どもがうるさくてイライラすることが多い。  
夫は家にいるときは家事や育児に協力をしてくれるが、仕事が忙しく、帰宅時間も遅い。  
両親ともに実家は市内であるが、関係が悪く疎遠がちである。  
昼間に家に来て子どもと関わってもらえるボランティアをお願いできないか。  
その間、自分は少し横になって休息をしたい。

## ◎相談事例④ ～依頼者～

40代の息子から80歳の母親についての相談。母親は3年前から寝たきりの状態になり、療養型病院に入院していたが、母親自身が退院を希望したため、マンションに二人で暮らしている。介護保険4の認定を受けているが、サービスが足りない。

夜に母親から起こされることも多く、息子はなかなか昼間の仕事に就けず、生活保護を受給している。ボランティアに母親の世話（食事の介助や散歩付き添いなど）をしてもらえないか。

# 最後に・・・

西宮市社会福祉協議会第7次地域福祉推進計画 福祉目標

“みんなで  
みんなを  
地域の主人公に”  
の意味・・・

→ その活動の中で私が感じている課題(ジレンマ)とは・・・

ありがとうございました

